

事業評価個票（事業実施：令和元年度）

事業名		地域DMO育成事業費					
部局名		観光文化スポーツ部					
担当課名		観光立県推進課、イン・アウトバウンド推進課					
事業開始年度		令和元年度		事業終了(予定)年度		未設定	
短期APの位置付け	テーマ	テーマ5 世界に誇る山形の魅力を発信し国内外の旺盛な活力を引き込む「観光立県山形」の確立					
	施策	施策2 観光資源の高付加価値化と戦略的誘客の強化					
	目標指標	観光消費額		2,500億円			
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> <li>観光ニーズの変化に対応した山形ならではの観光素材の磨き上げ</li> <li>各地のDMOの育成を図り、商品造成・販売力を強化し、魅力ある商品展開により、交流人口の拡大を図る。</li> </ul>					
事業概要		<p>○地域DMO商品づくり力向上事業 900千円</p> <p>着地型旅行商品の造成に取り組む地域DMO等を対象に、旅行マーケットに精通した商品企画・流通などの専門家（スーパーバイザー）を派遣し、着地型旅行商品づくりの実践を通して助言指導等を行い、売れる商品を生み出すスキルやノウハウを習得することによりDMO等の育成を図る。</p> <p>支援金額は、1団体225千円を上限に、スーパーバイザー派遣に係る費用（旅費・謝金）の1/2を助成。</p>					
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 官民一体となり観光誘客事業を行っている「やまがた観光キャンペーン推進協議会」への負担金とし、効果的な事業展開を図るため					
当初予算額 (単位:千円)	費目 (予算見積書グループ名)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	地域DMO商品づくり力向上事業		900	900			
	計		900	900	-	-	-
財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金						
	県債						
	その他特定財源						
	一般財源		900	900			
計		900	900	-	-	-	
活動指標		DMO 4 団体で複数商品化					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動実績	団体	4				
	当初見込み	団体	4	4			
	活動実績						
	当初見込み						
成果指標（所管部局の分析）		観光者数					
成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果実績	万人	集計中				
	目標値	万人	4,700	-	4,820	4,880	4,940
	達成度	%			0%	0%	0%
	成果実績						
	目標値						
	達成度	%					
活動指標及び成果指標設定の考え方							
おもてなし山形県観光条例（平成26年4月1日制定）に基づき策定された、おもてなし山形県観光計画（平成27年3月策定）では、観光流動の創出による好循環の実現を掲げ、計画の最終年次である令和元年度までに、地域経済への波及の効果を示す「観光消費額」を2,500億円に引き上げることが政策目標とされており、また、令和元年度までに「観光者数」が4,700万人を上回ることが参考管理指標とされていることから、本事業はおもてなし山形県観光計画に定めた目標値を設定した。							
事業所管部局による評価・検証（令和元年度）							
項目			評価		評価に関する説明		
事業の必要性	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。		A		DMOは、地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔としての役割を期待されている。また、県、市町村、民間団体で構成する推進組織において官民一体となった事業を展開している。		
	また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。		A		着地型旅行商品の造成、販売促進、宣伝事業の強化を目的に、県内に所在する広域観光協議会、市町村観光協会等が組織に含まれる団体が実施する事業を支援対象としており、支援額は県と支援団体で対象経費の1/2ずつ負担している（上限あり）。		
	支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。		A		他手段としてセミナーや講演の実施が考えられるが、それと比較して本事業では、実際にスーパーバイザーよりDMO等で着地型旅行商品の造成等を行う現場に加わってもらい、助言指導をいただくことで、より実践的にスキルやノウハウを習得することができた。		
事業の効率性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		A		また、類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		A		また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。		
事業の有効性 (達成度)	活動実績は当初見込みに見合ったものであるか。		A		また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		A		成果実績は集計中（10月公表予定）		
課題・改善点							
観光における地域間競争が激しさを増す中、他県の観光地との差別化を図る必要がある。そのために、引き続き、地域DMO等での旅行商品造成、販売力を強化することで、魅力的な地域ならではの着地型旅行商品の展開による交流人口の拡大を図る。							

## 目的

- 観光ニーズの変化に的確に対応し、他地域との差別化を図るには、地元の視点で山形ならではの観光素材を磨き上げ、戦略的に地域の魅力を発信していくことが重要である。

こうした取組みを行う主体は、地域資源を良く知り、地域の多様な主体との調整役となる各地のDMOが担っていくことが期待されている。

このため、各地のDMOの育成を図り、商品造成・販売力を強化することで、ここだけ・いまだけの魅力あふれる商品展開により、交流人口の拡大を図るもの。

### DMO (Destination Management Organization)

地域の観光資源を熟知し、地域と共同して観光地域づくりを行う組織。地域資源の磨き上げ、受入態勢の整備などを担い、地域の観光協会などもこの機能を果たす。

## 事業内容

- 地域DMO商品づくり力向上事業 900千円

地域DMOにスーパーバイザー※を派遣し、着地型旅行商品づくりの実践を通して助言指導等を行い、売れる商品を生み出すスキルやノウハウの習得によりDMOの育成を図る。

※旅行マーケットに精通した、商品企画・流通等の専門家



地域資源の磨き上げ

